

区政 Now! (26年7月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

「あごさし」



7月に入り、まもなく夏本番を迎えようとしています。本年も暑い夏を迎えるにあたりましては、「元祖・本家あらかわ街なか避暑地」や「緑のカーテン」などの施策の実施により、高齢者の方々や子どもたちをはじめとする区民の皆さまが、より一層安心して過ごすことができるよう体制を万全に整えております。

6月に行われました「世界都市サミット/市長フォーラム」においては、マレーシア政府からの要請のもと、東京23区の清掃事業について発表をいたしました。東京23区の有する清掃事業の技術や取り組みが、国を超えて評価されたものと考えております。

今後とも区民の皆さまの幸福実感向上に向けて取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

主な事業

● 「世界都市サミット/市長フォーラム」に出席し、23特別区と東京二十三区清掃一部事務組合の取組みを発表しました

◇ 6月1日、西川区長を団長とする一行が、シンガポールで開催された「世界都市サミット/市長フォーラム」に出席しました。

◇ 各国から130名超の首長、閣僚級、国際機関関係者等が集まり、「持続可能な環境：水処理及び廃棄物処理」をテーマとする円卓会議において、23特別区と清掃一組の取組み「東京モデル」を発表しました。



マレーシア都市福祉・住宅自治大臣との記念撮影



各国代表と討議の様子

◇ 6月2日には、マレーシア都市福祉・住宅自治大臣のアブドゥル・ラーマン氏と会談し、マレーシアにおける廃棄物処理問題解決のため、23特別区と清掃一組が支援を行っていく考えを示しました。

● 荒川区が東京都で唯一、「国土強靱化地域計画策定モデル調査」の実施団体に選定されました

◇ 大規模火災や倒壊による死傷者の発生を防ぐハード・ソフト両面からの総合震災対策を効果的に推進するため、内閣官房の「国土強靱化地域計画策定モデル調査」に応募したところ、荒川区が東京都で唯一、第一次の実施団体として選定されました。

◇ これは、地域特性に応じた防災・減災等に資する施策を推進するため、モデル事例を作成して全国の地方公共団体等で共有することにより、地域計画の策定を促進するというものです。

◇ 迫りくる大規模な災害への備えとして「国土強靱化地域計画」を最大限活用することにより、密集市街地の改善をさらに進め、「災害でひとりの犠牲者も出さない安全安心の街づくり」に全力で取り組んでまいります。

● 第2回「幸せリーグ」総会が6月4日に開催されました

◇ 平成26年6月4日、「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」（通称「幸せリーグ」）の第2回総会がサンパール荒川で開催されました。



開会あいさつの様子

◇ 「幸せリーグ」は住民の幸福実感向上に向けて、基礎自治体同士が相互に連携し、互いに学び合いながら、持てる力を結集して行政運営の一層のレベルアップを図るための連合体です。

昨年6月に荒川区が発起人代表となり設立され、現在55の基礎自治体が参加しています。

◇ 総会では、「幸せリーグ」会長の西川太一郎荒川区長による挨拶の後、規約の一部改正と26年度予算の審議が行われ、決定されました。新たに会計監事として藤井信吾取手市長が選出されました。



参加自治体のみなさま

◇ その後、1年間の活動内容についての報告があり、さらに「幸せリーグ」顧問の広井良典千葉大学教授から「人口減少時代の幸せビジョンー 地域からの離陸と着陸ー」というテーマでご講演を頂きました。

● 永久水利施設について尾久消防署から感謝状が贈呈されました

◇ 平成26年5月27日、区が首都直下地震に備えてあらかわ遊園内の既存ポンプを増強し、隅田川の河川水を活用できる永久水利施設を整備したことに対し、尾久消防署から感謝状が贈呈されました。

◇ 区は尾久消防署とこの施設を震災時の火災に連携して活用するために「永久水利施設の使用等に関する協定」を締結しています。また、この施設には他自治体の首長、防災関係職員等の視察も相次いでおり、関心の高さが表れています。

◇ さらに6月13日に行われた特別区長会において、大江秀敏東京消防庁消防総監から「首都直下地震に備えた地域防災力の向上について」というテーマでご講演いただき、永久水利施設の整備に対し、総監から高い評価をいただいたところです。



感謝状贈呈の様子

◇ これからも災害で一人の犠牲者も出さない街を目指し、共助の精神に基づく防災区民組織の強化に全力を挙げて取り組んでまいります。

● 国家公務員総合職に対する行政研修が荒川区で行われました

◇ 6月24日、国家公務員総合職の新任職員約100名が、荒川区で初任行政研修を行いました。

◇ 参加者は、西川区長の講話に続き、区内の中小企業による講演や企業訪問、関係者との意見交換などを行い、政策立案を行う上で現場を知ることの重要性を学びました。